

清張と乱歩

ミステリー界を代表する
二人の巨人

二人の登場時期には30年ほどの差があり(年齢は15歳違い)、本格派に対して社会派と、対比性は際立っています。二人はお互いをどのように見ていたのか。そしてそのことは、ミステリー界やミステリーの歴史にどのような影響を与えたのかを考察します。

第1回 乱歩の見た清張

2019年2月10日(日) 午後2時~3時30分

戦後の乱歩は、ミステリー界の興隆に尽力します。文壇作家にミステリーを書かせることにも熱心で、清張もそのようにして乱歩に見込まれた一人ですが、乱歩の真意はどのようなものであったのでしょうか。

第2回 清張から見た乱歩

2019年3月10日(日) 午後2時~3時30分

本を共同編集したり、活動を共にするなど、昭和30年代は清張と乱歩の蜜月時代とも言えます。しかし清張はその一方で苛烈な乱歩批判をも展開します。そのことを通じて清張は何を目論んだのでしょうか。



講師
藤井淑禎
(ふじいひでただ)

立教大学名誉教授。専門は、近代日本文学文化、戦後大衆文化、ミステリーなど。著者は、『小説の考古学へ』『清張 闘う作家』『清張ミステリーと昭和三十年代』『江戸川乱歩と大衆の二十世紀』(編著)『高度成長期に愛された本たち』『名作がくれた勇氣』『純愛の精神誌』『望郷歌謡曲考』『御三家歌謡映画の黄金時代』『漱石紀行文集』(編著)『90年代テレビドラマ講義』など。

【場 所】東武博物館ホール

東武スカイツリーライン「東向島」駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定 員】各講演とも180名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
(個別の応募はできません)

【主 催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。
上記同様の必要事項をご入力して、送信してください。

【宛 先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

締 切 2019年1月10日(木) 必着 ※当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。 ※一度に複数名のご応募はできません。 1回の応募で1名様のみご当選となります。

【お問合せ】 東武友の会 TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

※講演のテーマ内容に変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。